

現状・課題

- (1) AIやロボティクスといった技術の発展に伴い、学校教育活動において、**EdTech教材を有効に活用**することにより、**これまでの教育活動の質をさらに充実させ、これまでにない学びを実現**することが期待されている
- (2) テスト問題や各種文書のたたき台作成等の校務利用や児童生徒の学習場面において、**生成 AI の利活用が求められているもの**の、生成AIを校務や授業で活用する教員(県立学校)の割合((R6年度実績):20.9%)が低い。

取組方針

- ・ EdTech教材の利活用により、「探究的な学び」「個別最適な学び」を充実させ、生徒の資質・能力を育成
- ・ 教育活動や校務における生成AIの活用に向けた、効果的な教育実践の拡大

主体的・対話的な授業を実現し「探究的な学び」「個別最適な学び」を充実させるEdTech教材

・MetaMoJi Classroom(授業支援ツール)

- 授業の中で、リアルタイムに教師と児童生徒、児童生徒と児童生徒が「つながる・協働する・共有する」場面を創出
- 一斉学習、個別学習、グループ学習などページ単位で目的別のページ作成が可能で「個別最適な学び」をサポート
- 家庭学習で活用できるほか、不登校や病気などの長期欠席者への学習環境の提供が可能
- 遠隔授業やオンライン授業で、対面授業実施と同等の教師と生徒のやり取りが可能

校務・教育利用での生成AIの利活用

・生成AI活用促進事業費 (※全県立学校を対象)

- ICT教育サポーターの派遣及び外部人材の活用により、校務や授業において、生成AIが日常的に活用されることでの教育の質の向上及び働き方改革の実施
- 校務で利用可能な生成AIアプリの導入

備考

- ・ MetaMoJi Classroomについては県立学校の全児童・生徒・教職員が使えるようにする。
- ・ 生成AIについて、教育行政系ネットワークで利用することにより機密情報も取扱可能。